ケロちゃん通信 第26号

☆梅雨も明け、熱い夏がやってきました。プランターの花も暑く てバテ気味です。手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱、とび ひなどが流行っています。

☆5月から一般診療、7月から予防接種・健診の予約システムを開始しました。順調に利用される方が増えてきて、混雑解消に役立っています。前より待合室が混んでいないと感じる方も多いと思います。一度に集中して来院することが減り、平順化されたためです。またweb予約すると、変更・キャンセルもご自分でできるようになりますので便利です。秋以降の繁忙期の混雑緩和のため、予約システムの更なるご利用を宜しくお願いいたします。

☆待合室での感染症予防のため、今までは相談室をご利用いただいていました。感染症でない患者さんの待合スペースを増やすため、<u>予防接種・専門外来待合室と赤ちゃん待合室</u>を別にし、2室をご利用いただけるようにしました。限られたスペースですが、可能な限りの感染症予防を行っていきたいと思います。

☆診察券発行機を導入しました。今までの紙の診察券をお持ちの方で、 新しい診察券を希望される方は、受付にお申し出ください。

8月の診療予定

本間医師 (4日 午前/午後 18日 午前) 井埜医師 (30日午前 31日午後)

臨時休診日

12日(土)

14日(月)午後(午前は診療いたします)

31日(木)午前

ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします



ながおか医療生協 あたご こどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号 0258-36-5810

http://www.nagaoka-iryou-seikyou.jp/

診療案内

受付開始:一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診察

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。

予約希望の場合は、前日O:OOからスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。

付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊 急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**:スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください(2ケ月後の予約までできます)。今まで通り、窓口または電話でもご予約できます。

☆専門外来

①発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制) 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約も可)

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいた します。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「す こやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

手足口病

- 乳幼児のあいだで流行する夏かぜの一種です。
- コクサッキーウィルスA群6型、16型およびその変異型、エンテロウィルス71型などによっておこります。

<症 状>

- 手のひら、足の裏、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。おしりやひざにできることもあります。しかし、全身に発疹が出たり、水痘や他の夏かぜと区別が難しい場合もあります。熱が下がってから発疹が出る場合もあります。
- 熱は微熱程度から高熱を出す場合もあり、様々です。
- 発熱は当初は、ヘルパンギーナと区別が難しい場合もあります。
- ・原因ウィルスは数種類あるので、くりかえしかかることもあります。
- ごくまれですが、髄膜炎や脳炎を併発することがあるので、注意が 必要です。
- 1-2ヶ月後に爪がむける合併症(爪甲剥離症)がでることがありますが、自然に生え代わるので心配ありません。
- ・大人も体力が落ちているときなどに感染します。口内炎、咽頭痛、 発熱などが主体ですが、発疹がでることもあります。このため、年 長児や大人ではヘルペス性口内炎と区別が難しいこともあります。

<治 療>

- ・自然に治るので、特別な治療は必要ありません。
- 熱、のどの痛み、かゆみなどがある場合には薬を処方します。
- 通常、4-5日で治癒します。発疹の跡は1-2週間の残ることがあります。

<家庭で気をつけること>

- 食べ物: 口の中がいたいときは、しみないものを与えましょう。熱いもの、 塩味や酸味の強いもの、かたいものは控えましょう。
- ・入 浴:熱がなく元気なら、入ってもかまいません。
- 口の中が痛くて水分もとれない時、高い熱が続く時、吐いてぐったりしている時は、受診して下さい。

<登園・登校の基準>

- 発疹のみで、熱がなく元気であれば、登園・登校は可能です。
- ・プールは、発疹がある間は禁止する園や学校もありますが、感染予防の 観点からはあまり意味がないと言われています。しかし、本人にとっては、 水疱がつぶれている部分は皮膚バリアーが壊れているので、とびひなど の細菌感染をおこしやすいと言われています。本人の二次感染予防のため、 水疱が落ち着くまではプールは控えたほうが無難だと思われます。



~ふるさと 長岡花火~